

13 行政評価局

総務課機動調査推進室長

萬谷 優人

「行政評価って、おもしろい！」



■ 仕事の内容

機動戦士

私の担当する部署は、「機動調査推進室」。

所属の行政評価局では、行政評価の対象となる府省をグルーピングして、6つの調査担当室（評価監視官室）を設定。これらの調査担当室では、あらかじめ定めた年間調査計画に基づいて調査を実施しているのですが、「機動調査推進室」は、これとは違い、計画に載っていない調査を機動的に実施しています。

具体的には、突発的な事件・事故・災害や議論の高まった社会的問題等を端緒として調査を企画立案し調査を実施します。

平成24年度には、大きな被害を出した「土砂災害」について実態調査をし、25年度からは、皆さんも時々、新聞やテレビで事件や有識者の議論について見かけるとはいますが、「生活保護」についての実態調査を実施していて、現在、その調査結果の取りまとめを行っています（このパンフレットが皆さんのお手元に届くころには、調査結果を報道発表しているかも）。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

いつも心に「なんでやねん」

そう、私たちの仕事は言わば「ツッコミ」の仕事。国の行政にツッコミを入れ、「なんでやねん」、「いい加減に〜しなさい」というお仕事。ですから「的を射たツッコミ」「間のいいツッコミ」をしないと、ウケません。

で、ウケる「ツッコミ」をするために重要となるのが、ツッコミの原点となる問題意識やその判断基準をいかに持つのかということ、そして、その判断基準の原点となる常識を私たちがいかに備えるのかということです。

ですから、私たちの職場では、この「常識」を磨くため、幹部や上司・先輩と垣根なく話ができる土壌があって、仕事の話に限らずいろいろな話、議論をしますし、時には、大学教授等の方々と話をしたりもします。私個人でも、民間の方々と話をする機会を積極的に設けていますというか、よく飲みに行ってます。

皆さんも、私たちとっしょに「常識」を磨き、その「常識」一つ引っさげて、各府省相手に「ツッコミ」を入れに行きましょう。

■ PROFILE

Masato Mantani

- 昭和59年4月 行政管理局採用
中部管区行政監察局
- 平成4年4月 行政監察局副監察官
- 平成6年8月 農林水産省経済局保険管理課
企画調査班調査係長
- 平成18年7月 行政管理局副管理官
- 平成20年4月 内閣官房行政改革推進本部事務局局員
- 平成22年8月 行政評価局調査官
- 平成25年6月 現職

■ PRIVATE TIME

趣味と言える趣味もなく、面白みはないのですが、土日の時間の過ごし方と言えば、こんな感じです。基本、運転手です。

（土曜日） 妻の指令の下、掃除・洗濯のお手伝い。近所のスポーツ・ジムにて2時間程度汗を流す。

（日曜日） 妻の指令の下、車でお出掛け＆スーパーでの買出し手伝い。



とある一週間

■ MONDAY

室内の今週の業務スケジュールの確認。室員と調査事項の打合せ。

■ TUESDAY

東京都の調査。室員から調査状況の報告。対応方針打合せ。

■ WEDNESDAY

厚生労働省の調査。室員から調査状況の報告。翌日の出張会議の打合せ。

■ THURSDAY

福岡に出張し、調査動員した九州管区行政評価局で調査状況について意見交換。

■ FRIDAY

東京に戻り、福岡で得た調査情報を整理し、他の地方局所に情報提供・調査指導。

人事・恩給局

行政管理局

統計局

行政評価局